

アライ ALLYアスリート になろう。

Q. WHAT'S ALLY ?

アライ (ally) とは、同盟、味方などを表す言葉です。
LGBTQ+当事者の味方として共に行動する人達を総称してアライといい、
LGBTQ+当事者もアライになることができます。
アライアスリートは、スポーツ界から社会を動かすアクションを
一緒にしていくアスリートです。
プライドハウス東京は、「LGBTQ+とスポーツ」についての基礎知識や
LGBTQ+アスリートとの対話、メディアトレーニングの機会を設け、
アライアスリートを増やしていきます。



ALLY ATHLETE FILE 01



NAME

杉山 文野
Humino Sugiyama

POSITION

NPO 法人東京レインボープライド共同代表理事
フェンシング元女子日本代表
JOC 理事

COMMENT

私は10歳から25歳までフェンシングの選手として競技生活を送りました。その当時、LGBTQ+に関する情報はほぼゼロ。トランスジェンダーである私が自分らしくありたいと思えば競技者としての人生はなく、競技を続けたいと思えば自分らしくはられません。あれから15年、社会は少しずつ変化しています。LGBTQ+に限らず、多様な誰もが自分らしくプレーできるスポーツ界を、みんなで一緒につくりましょう！



東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、LGBTQ+に関する理解を広げることを目指し立ち上がったプロジェクト。NPO や個人、企業や大使館がコンソーシアムとなり、個別のテーマに基づき 8 つのチームに分かれて活動しています。
「アスリート発信チーム」では、LGBTQ+とスポーツの接点から誰も排除しない LGBTQ+インクルーシブなスポーツ環境づくりと、スポーツを通じた LGBTQ+に関する情報発信を行っています。

<https://pridehouse.jp/>



誰もがありのままでプレーできるスポーツ界、
そして自分らしく生きられる社会を目指して、プライドハウス東京と共に、
スポーツの力を活用してアクションしませんか？



アライアスリートの輪を広げよう！

スポーツは LGBTQ+ 課題の最後のフロンティア

伝統的な「男らしさ」が賞賛され、異性愛が当然である
という文化と共に発展してきたスポーツ界において、
LGBTQ+の人々は様々な困難に直面しています。
「男性」と「女性」に分かれることが当然とされる文化の中で、
スポーツを安全・安心に楽しむ機会を奪われてきた人たちがいます。

スポーツに関わった LGBTQ+ 当事者で
差別的な発言を聞いたことがある人の割合
(日本スポーツ協会調査)



スポーツの現場で同性愛者を嫌悪する
発言を目撃したことがある人の割合
(アウト・オン・ザ・フィールド調査)



！ スポーツ界でアライになるために

01 必ず身近に当事者がいることを理解する

02 自分自身の無意識のバイアスに気づく

03 アウティング※を絶対しない

※本人の許可なく、他の人の公にしている性自認や性的指向を周囲に伝えること

04 アライであること宣言する

「アライアスリート」としての活動

全3回のトレーニングへの参加

「アライアスリート」としてともに行動するために、
LGBTQ+に関する正しい知識を身に付け、
社会やメディアに対する効果的な発信について学びます。

1. 「LGBTQ+とスポーツに関する基礎知識」

実施日 2022年8月30日(火) 19:30-21:30

2. 「LGBTQ+をオープンにするアスリートの経験から学ぶ」

実施日 2022年9月20日(火) 19:30-21:30

3. 「効果的な発信のためのメディアトレーニング」

実施日 2022年10月中旬を予定

※開催日時は変更となる可能性があります。

※全3回を終了後、プライドハウス東京より「修了書」をお渡しします！

※研修はハイブリッド形式で行う予定です。できるだけ多くの方に会場にお越しいただきたいと考えています。また、止む得ず欠席する回がある場合は録画を視聴いただけます。

研修に参加して
修了した方は



■ アライアスリートメッセージ動画へのご出演

スポーツや日常生活において、否定的なコメントを聞くことも少なくない
LGBTQ+当事者にとって、スポーツ界で活躍するロールモデルからの
ポジティブなメッセージは力になります。スポーツ界からポジティブな
メッセージをともに届けましょう！

■ プライドハウス東京と連携した LGBTQ+ と スポーツに関する情報発信

活動例

- 大会や試合における LGBTQ+に関する情報発信ブースへの訪問
- SNS を通じたムーブメントへの参加
- スポーツ競技団体やチームに対するLGBTQ+研修での講師としての登壇
- メディアに対する発信 など

基礎用語

LGBTQ+ (エル・ジー・ビー・ディー・キュー・プラス)

性的少数者を総称するときに使用されます。
レズビアン (Lesbian)、ゲイ (Gay)、バイセクシュアル (Bisexual)、
トランスジェンダー (Transgender)、クィア (Queer)
またはクエスショニング (Questioning) の頭文字を取り、
LGBTQ だけに収まらない性の多様性をプラス (+) で表現しています。

SOGIE (ソジー)

性的指向 (Sexual Orientation)、性自認 (Gender Identity)、
性別表現 (Gender Expression) の頭文字を取った略称。

※ここに身体構造における性的特徴 (Sex Characteristics) を含めて
SOGIESC (ソジエスク) と言われることもあります。
性を構成する4つの要素です。

お申込みはこちらから >>>

URL <https://forms.gle/4vXaAKoW6p52semC8>

申し込み期間 2023年8月12日(金)まで

※以降については個別で相談



お問い合わせ >>>

プライドハウス東京アスリート発信チーム
(一般社団法人 S.C.P. Japan)

EMAIL info@scpjapan.com



Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION